

登録団体の活動紹介

ふれあい若園

～ 30周年を迎えました～

当会の前身である「若園町母の会」は、昭和59年7月、当時乱れていた南中学校の秩序を正そうとPTAの母親たちが中心になって結成しました。

結成1ヵ月後の夏祭りに、生徒たちと触れ合うために一緒に古本屋を出しました。当時中学生の地域参加は全くなかった時代でしたが、不思議なことに大人に反発していた生徒たちが素直に従ってくれたのです。“ご苦労さん会”の焼きそばパーティは大盛況。その後、住民誰もが参加できる楽しいイベントの会となって10年間続きましたが、地域の高齢化もあって名前を「ふれあい若園」と改名し、男女誰でも参加できる地域住民対象の会としました。

みんなが気楽に参加できるバスツアー、演芸会、講習会など様々な活動を続け、平成3年には茨木市長から中学校の沈静に貢献したとして感謝状を、25年には茨木ローズライオンズから地域の交流と研鑽に寄与したことで感謝状と顕彰金を頂戴しました。

先日11月24日には“30周年記念祝賀会”を開催し、記念誌の発行、また多くの来賓から激励を頂き、今後も地域の核となる活動を続けたいと一同気持ちを新たにしています。

当会の会費は年1200円、年間行事7回程度、だれでも入れる気楽な会です。

★連絡先／森下恭子 ☎ 638-2212



マジカルストーンズ

マジカルストーンズは、2010年4月に発足し、活動しています。

月1回、マジックに興味のあるものが集まり、お互いにわからないところを教え合いながら、楽しく腕を磨いています。

デーサービスやこども会などから声をかけていただき、日頃の成果を発表させていただいています。メンバーの平均年齢は、かなり高いですが、人生楽しみたいという気持ちを持って明るく、はつらつと活動しています。

人前に出るとドキドキして、まだまだ未熟ではありますが、見てくれている人とのふれあいや、喜んでくれる顔をみるのを楽しみに、頑張っています。

★連絡先／三石晴英 ☎ 641-4966



編集後記

今年も押し迫りました。

いつも少しでも皆様にお役にたてる市民活動センターでありたいと願って走り続けていますが、悩みや迷いの日々も少なくありません。

北摂地域各市のセンターもそれぞれに規模、運営等に違いがありますが、いろいろと教わりながら、私たちに茨木市民に必要とされるセンターを目指して来年も頑張っていこうと思います。(な)

◎茨木市市民活動センター
アクティブプラザ

きずな

発行 / 茨木市市民活動センター
大阪府茨木市駅前四丁目
7 番 50 号 市民会館 2 階
TEL&FAX - 072-623-8820
http://www.ibaraki-npo.jp/
Email:ibaraki-npo@cyber.ocn.ne.jp

“つなげる” “支える” “発信する”

市民活動応援フェスタ

毎年恒例の「市民活動応援フェスタ」が 10 月 16 日、クリエイトセンターで開催されました。

今回の講演は、“NPO 法人ほっとサポート” 理事長 久保下多美子さんの「人生の整理術」、そして劇団シルバームーンの喜劇「三途の川の渡しにて」の公演が続き、観客の皆さんはその内容にうなづいたり、笑ったりと和やかな雰囲気でした。

場内ブース展示は 43 団体、加えてキッズコーナー、ミニステージ、体験コーナー、健康コーナー、防災コーナーなどを設置しました。食コーナーではスワンのパン販売、北摂つばさ高校のコーヒ販売、団体からはカレーやフランクフルト、おこわ、クッキーなど参加団体数は 68 団体であり、それぞれに賑いました。

大震災での教訓をふまえて、災害に備える諸器材や物品を展示した「防災コーナー」も設置しましたが、そこへの市民の参加が少なかったのは意外であり残念でした。

当日近くで他の大きなイベントが開催されていたせいか、昨年より参加者が少し減少（約 1000 名）したことは仕方がないとはいえ今後の課題と思われます。



▲劇団「シルバームーン」



ブース風景▶



◀「あおぞらちんどん」



▲キッズコーナー



事業 報告

シンポジウム「企業の社会貢献（CSR）の実際を知る」（9/29） ～市民活動との連携の可能性を探る～

市内の身近な企業の多様な社会貢献の実際を知ることにより、市民が企業に対し正しい理解と評価を持つことと、加えて今後企業と市民活動との連携や協働の可能性について知識を得ることを目的にこのシンポジウムを開催しました。センターとしては2回目の取り組みになりますが、前回よりも参加者も多く、アンケートには今後もこのような企画の開催を望む意見が多く寄せられ、市民の関心の高さがうかがえました。

〔発表企業〕・パナソニック株式会社・ゴウダ株式会社
・大日本住友製薬株式会社・株式会社平和堂

会場フロアでは企業間の交歓風景もあり、また会場後部には、市内または茨木市に關係する企業約10社の社会貢献資料を設置したところ、ほぼ全部を参加者が持ち帰られた。



▲パネリスト発表風景

市民活動応援事業 フリーマーケット（9/16）

毎年開催が定着してきたフリーマーケットは、今回も参加団体20、来場者は480名と盛況でした。開場前に市民が列を作る状況で、売り上げも大幅にアップした団体も多いようでした。関西大学の学生さん達のコーヒー販売も好評でした。



スリーAゲーム 指導者講習会（9/14）

茨木市では少し耳慣れないスリーゲームですが、実際の講習会では参加者は生き生きと楽しくゲームに興じておられた。今後高齢者施設等でのボランティア活動に活かせる講習会であった。



「歌体操ボランティア」 養成講座（9/14～11/24）

高齢者施設で活発なボランティア活動がされている「SA茨木歌体操」のご協力を得て、今年も実施しました。全6回という長丁場の講座ですが、毎回人気があって定員20名を超える応募がありました。修了者の内14名の方がボランティア活動のため入会されたのは、この講座の大きな成果でした。



講演「発達障がいの子と ハッピーに暮らす」（11/9）

我が子4人が“発達障がい”と診断され、その子育てを本として出版された堀内祐子さんを東京からお招きしての講演会でした。苦しい中でも前向きにお子さんと接してこられた堀内さんのお話に140名の参加者からは「感動と勇気をもらった」との感想を多くいただきました。



講演 スマートコミュニティとは？（11/16）

茨木市太田の元東芝工場跡地に、新しくスマートコミュニティが作られるのでは？との情報から株式会社東芝の安達俊朗さんを講師にスマートコミュニティとはどんなものかという基礎的なお話を伺った。未来に向けた新しい構想に質問も多く出て活気ある講演会となりました。

共催 事業

市民活動センターには、様々な活動の相談があり、中に“センターと共催で”という企画の提案もあります。センターが参加することで、多くの市民への広報や、団体と団体をつなぐ役割等ができるならばと、積極的に受け入れることにしています。

シルバーアドバイザー茨木 25 周年記念会 (11/20)

会創立以来絶えることなく活発なボランティア活動を展開されている「シルバーアドバイザー茨木」さんが 25 周年を迎えられ記念会が開催されました。当日は木本保平茨木市長や茨木市社会福祉協議会理事長の福井紀夫氏もお祝いにかけつけられ、25 周年を慰労し今後の活躍への期待を述べられました。



記念講演には

- ①「認知症の予防と早期発見」新阿武山病院 森本一成先生
 - ②「笑って元気にくらしショー」ユーモアコンサルタント 矢野宗弘さん
- 加えて会員の皆さんの日頃の活動の発表などもあり、一般市民にも参加いただき、楽しく有意義な1日となりました



◀木本保平市長

子育てフェスティバル (11/4)

11月4日(祝)アル・プラザ茨木において「子育てフェスティバル」が開催されました。子育てサークル「アンファン広場」さんをはじめ地域の高校生やCSWの皆さんなど、沢山の団体に交じって活動センターも共催という形で参加しました。地域の商業施設での、このような開催は、他にあまり例を見ない活動であり、今後の市民活動の1つの方向性を示していると思われまます。



事業 案内

登録団体交流会

毎年恒例の「登録団体交流会」を下記のように開催致します。多くの団体が一堂に会し各団体の活動の紹介や交流を行います。ぜひ大勢のご参加をお待ちしております。

- ・日時／26年2月8日(土) 13:30-16:30
- ・会場／福祉文化会館 302号室

〔記念講演〕

「市民協働の推進について」

市民協働推進課 課長 北達 和雄 さん

〔団体交流会〕 茶菓あり



▲24年度 交流会風景

「ボランティア保険の実際について」

ボランティアの活動中の事故に備えて、ボランティア保険が必要になってきます。そこで今回、社会福祉協議会の保険について、その手続きや保険の適用範囲など、私達に必要な知識を学びます。

- ・日時／26年2月21日(金) 14:00-16:00
- ・会場／活動センター会議室
- ・講師／大阪府社会福祉協議会・茨木市社会福祉協議会

